

公表

## 事業所における自己評価総括表

|                |                                  |       |              |
|----------------|----------------------------------|-------|--------------|
| ○事業所名          | サポートキッズみどりまち                     |       |              |
| ○保護者評価実施期間     | 令和 8 年 3 月 2 日 ～ 令和8年3月20日       |       |              |
| ○保護者評価有効回答数    | (対象者数)                           | 2 8 名 | (回答者数) 2 8 名 |
| ○従業者評価実施期間     | 令和 8 年 3 月 2 日 ～ 令和 8 年 3 月 20 日 |       |              |
| ○従業者評価有効回答数    | (対象者数)                           | 1 4 名 | (回答者数) 1 4 名 |
| ○事業者向け自己評価表作成日 | 令和 8 年 3 月 25 日                  |       |              |

## ○ 分析結果

|   | 事業所の強み（※）だと思われること<br>※より強化・充実を図ることが期待されること | 工夫していることや意識的に行っている取組等                                            | さらに充実を図るための取組等                                                                         |
|---|--------------------------------------------|------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------|
| 1 | 安心して子どもが過ごせる環境。                            | 子どもが自己選択できるような支援や 4 s を徹底した環境作り、相手の立場に立って共感的に支援を行うよう工夫している。      | 今後も一人ひとりが安心して過ごせる環境を提供する中で、こどもの主体性を尊重し得意分野を活動に反映させ、自己肯定感などの大幅向上を努め、楽しい+成長できる環境を確立していく。 |
| 2 | 個別支援、児童理解と保護者との信頼関係。                       | 個々の児童によって画一的ではない支援を行い、「信頼→安心→継続利用・満足度」の好循環ができるよう工夫している。          | 今後も一人一人に合った支援を行う中で、保護者との共通理解を図りモニタリングや会議、連絡手段などを使って情報を発信していく。                          |
| 3 | 活動の充実。                                     | 集団・個別のバランスを意識して行い、自己決定を促す支援を取り組み、固定化されないよう様々な視点からの活動を行うよう工夫している。 | 今後も活動の非固定化を行いながら、一人一人の成長に合わせた支援を取り組み、通所意欲を高めていけるよう取り組んでいきたい。                           |

|   | 事業所の弱み（※）だと思われること<br>※事業所の課題や改善が必要だと思われること | 事業所として考えている課題の要因等                                                                               | 改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等                                                                                          |
|---|--------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1 | 空間・設備面。                                    | 滑りやすい場所があったり、タイミングがかぶってスペースが使えなかったりすることがある。                                                     | パーティション等を活用しながらスペースを作り、一人一人が安心して過ごせる空間を提供していく。<br>玄関前の滑りやすい部分に砂を混ぜたペンキなどを使用して安全面の確保を図っていく。                    |
| 2 | チーム連携・組織力の強化。                              | 時間帯が合わずに全員参加の会議が難しいことがある。日々の活動の計画の共有が徹底されていないことがある。                                             | 会議録など作成を行っているが、今後は参加できない職員も確実に周知できるよう連絡ツールを使って確認をとり、全体の共有を図っていく。日々の活動も見える化しながら流れを提示し、職員一人一人が意識して動けるよう取り組んでいく。 |
| 3 | 地域連携・外部との関わり。<br>家族支援の発展。                  | 学童交流までの予定の調整が難しく、時間帯が合わないことがある。長期休暇を活用して行うが、大人数集まることから場所の確保が難しい。ペアレントトレーニング等独自の仕組みが完全に確立されていない。 | 今後学童交流を進める中で早めの予定調整、継続できる体制を整えて取り組んでいきたい。家族支援の発展を図るため、仕組みを確立し行っていく。                                           |